

3. 麗澤大学言語教育研究科の授業科目の履修及び単位認定に関する規程

(平成8年4月1日制定)

最近改正 平成29年4月1日

(目的)

第1条 この規程は、麗澤大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第44条第2項の規定に基づき、言語教育研究科の授業科目の履修及び単位認定について定めることを目的とする。

(修了要件)

第2条 博士前期課程・修士課程の学生は、その在学期間中に所定の授業科目を履修し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士の学位論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。ただし、英語教育専攻の学生は、所定の授業科目を38単位以上修得し、かつ、研究成果報告書の審査をもって、修士の学位論文の審査及び最終試験に代えることができる。

2 博士後期課程の学生は、その在学期間中に所定の授業科目を履修し、8単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士の学位論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。

(指導教員)

第3条 博士前期課程・修士課程の学生は、入学後定められた期日までに、特別研究を担当する専任教員の中から指導教員を選ばなければならない。又学生は、指導教員の下承を得て、適宜、大学院担当の専任教員の中から副指導教員を選び指導を受けることができる。

2 博士後期課程の学生は、入学後の履修登録までに、研究指導を担当する専任教員の中から指導教員を選ばなければならない。

3 学生は、授業科目の履修、日常の研究及び学位論文の執筆にあたり、指導教員の指導を受けなければならない。

4 やむを得ない事情があると認められる場合を除き、指導教員を変更することはできない。

(博士前期課程・修士課程の授業科目の履修方法)

第4条 日本語教育学専攻博士前期課程の授業科目の履修方法は、次のとおりとする。

(1) 授業科目名に「Ⅰ」「Ⅱ」等のローマ数字を含むものについては、順次に履修することを原則とする。「Ⅱ」を履修する場合は、「Ⅰ」の単位を修得することが必要となる。

(2) 基礎科目は、別表Ⅰに掲げる授業科目より8単位を履修するものとし、「Ⅱ」を2単位以上含むものとする。

ただし、この8単位には、他専攻の基礎科目を2単位まで含むことを認める。

(3) 専門科目（言語学、日本語教育学、対照言語学、共通専門科目）は、別表Ⅱに掲げる授業科目より16単位を履修するものとする。ただし、言語学、日本語教育学、対照言語学より8単位以上を履修するものとする。また、他専攻の専門科目を6単位まで含むことができる。なお、この6単位には、経済研究科修士課程の国際科目の中から2単位を含むことができるものとする。共通専門科目のアカデミック・ライティングA・Bは含むことはできない。

(4) 特別研究科目は、別表Ⅲに掲げる授業科目の必修6単位とし、1年次より継続履修することを原則とする。ただし、研究科委員会が適当と認めた者については、1年次にすべての履修を許可することができる。

2 比較文明文化専攻博士前期課程の授業科目の履修方法は、次のとおりとする。

(1) 授業科目名に「Ⅰ」「Ⅱ」等のローマ数字を含むものについては、順次に履修することを原則とする。「Ⅱ」を履修する場合は、「Ⅰ」の単位を修得することが必要となる。

(2) 基礎科目は、別表Ⅳに掲げる授業科目より8単位を履修するものとする。ただし、この8単位には、他専攻の基礎科目を2単位まで含むことを認める。

(3) 専門科目（比較文明文化、地域言語文化、共通専門科目）は、別表Ⅴに掲げる授業科目より16単位を履修するものとする。ただし、比較文明文化、地域言語文化より8単位以上を履修するものとする。また、他専攻の専門科目を6単位まで含むことができる。なお、この6単位には、経済研究科修士課程の国際科目の中から4単位を含むことができるものとする。共通専門科目のアカデミック・ライティングA・Bは含むことはできない。

(4) 特別研究科目は、別表Ⅵに掲げる授業科目の必修6単位とし、1年次より継続履修することを原則とする。

とする。ただし、研究科委員会が適当と認めた者については、1年次にすべての履修を許可することがある。

3 英語教育専攻修士課程の授業科目の履修方法は、次のとおりとする。

(1) 授業科目名に「Ⅰ」「Ⅱ」等のローマ数字を含むものについては、順次に履修することを原則とする。「Ⅱ」を履修する場合は、「Ⅰ」の単位を修得することが必要となる。

(2) 基礎科目は、別表Ⅶに掲げる授業科目より8単位を履修するものとする。ただし、この8単位には、他専攻の基礎科目を2単位まで含むことを認めることができる。

(3) 専門科目（英語学、英語教育学、コミュニケーション学、共通専門科目）は、別表Ⅷに掲げる授業科目より16単位（修士の学位論文を提出しない者は24単位）を履修するものとする。ただし、英語学、英語教育学、コミュニケーション学より8単位以上を履修するものとする。また、他専攻の専門科目を合計6単位まで含むことができる。なお、この6単位には、経済研究科修士課程の国際科目の中から2単位を含むことができるものとする。共通専門科目のアカデミック・ライティングA・Bは含むことはできない。

(4) 特別研究科目は、別表Ⅸに掲げる授業科目の必修6単位とし、1年次より継続履修することを原則とする。ただし、研究科委員会が適当と認めた者については、1年次にすべての履修を許可することがある。

（博士後期課程の授業科目等の履修方法）

第4条の2 日本語教育学専攻博士後期課程の授業科目の履修方法は、別表Ⅹに掲げる授業科目より2科目8単位を履修するものとする。

2 比較文明文化専攻博士後期課程の授業科目の履修方法は、別表Ⅺに掲げる授業科目より2科目8単位を履修するものとする。

3 前二項の規定にかかわらず、1年次から継続して同一の指導教員による研究指導を受けるものとする。

第5条～第6条 削除

（教職に関する科目）

第7条 教職に関する科目の履修方法は、「麗澤大学大学院の教職に関する科目の履修規程」による。

（履修科目の登録）

第8条 授業科目の履修にあたっては、定められた期日までに履修登録をしなければならない。

（単位認定）

第9条 学生が履修した授業科目のうち、合格した科目については、研究科委員会の認定を経て、所定の単位が与えられる。

2 大学院学則第45条の規定により、学生が他大学院（外国を含む。）で履修した授業科目の単位の認定については、前項の規定を準用する。

（他の大学院における授業科目の履修）

第10条 大学院学則第46条の規定により、博士前期課程・修士課程の学生が入学前に大学院において修得した単位（科目等履修生等として修得した単位を含む。）は、研究科委員会が適当と認めた場合には、10単位を超えない範囲で、これを研究科所定の単位として認定することができる。

2 前項に規定された単位認定は、学生が入学した年度の当初に研究科委員会の議を経てこれを行う。

（単位認定の時期）

第11条 単位の認定は学期ごとに行うことを原則とする。ただし、2学期にわたる授業科目は、その科目の終了する学期末に行う。

（成績評価）

第12条 成績評価は、S、A、B、C、D、Eの6段階とし、S、A、B、Cを合格とする。

2 成績評価のS、A、B、C、D、Eは、次の表に基づくものとする。

評価	取得点数	評価	取得点数	評価	取得点数
S	100～90	A	89～80	B	79～70
C	69～60	D	59～40	E	39～0

3 大学院学則第45条及び第46条の規定に基づき認定した単位については、第1項の表記によらず、T

(Transfer)表記とする。

4 研究科委員会において認定した単位については、第1項の表記によらず、P (Pass)表記とする。
(学位授与の要件)

第13条 学位授与の要件については、麗澤大学学位規則の定めるところによる。
(追試験・追試験料)

第14条 やむを得ない事由で単位認定に必要な試験を受けられない者のために、追試験を行うことがある。
追試験を希望するときは、あらかじめその理由を証明する文書を添付した「追試験願」を提出し、許可を受けなければならない。

2 追試験料は、1科目につき1,000円とする。
(事務の所管)

第15条 この規程に関する事務は、大学事務局大学院グループが所管する。
(規程の改廃)

第16条 この規程の改廃は、研究科委員会及び大学院委員会の議を経て、学長がこれを定める。

附 則

- 1 この規則は、平成8年4月1日から施行する。
- 2 この規則は、平成10年4月1日から改定施行する。
- 3 この規則は、平成12年4月1日から改定施行する。
- 4 この規則は、平成13年4月1日から改定施行する。
- 5 この規程は、平成15年4月1日から改定施行する。
- 6 この規程は、平成16年4月1日から改定施行する。
- 7 この規程は、平成18年4月1日から改定施行する。
- 8 この規程は、平成19年4月1日から改定施行する。
- 9 この規程は、平成20年4月1日から改定施行する。
- 10 この規程は、平成21年4月1日から改定施行する。
- 11 この規程は、平成22年4月1日から改定施行する。
- 12 この規程は、平成24年4月1日から改定施行する。
- 13 この規程は、平成25年4月1日から改定施行する。
- 14 この規程は、平成26年4月1日から改定施行する。
- 15 この規程は、平成27年4月1日から改定施行する。
- 16 この規程は、平成28年4月1日から改定施行する。
- 17 この規程は、平成29年4月1日から改定施行する。

別表 I

分類	授業科目	単位	区分	年次	修了必要単位
基礎科目	言語学原論 I	2	講義	1	8 単位 IIは2単位以上必修。 他専攻の基礎科目を 2単位まで含むこと ができる。
	言語学原論 II	2	講義	1	
	日本語学概論 I	2	講義	1	
	日本語学概論 II	2	講義	1	
	日本語教育学概論 I	2	講義	1	
	日本語教育学概論 II	2	講義	1	
	第二言語教育学原論 I	2	講義	1	
	第二言語教育学原論 II	2	講義	1	

別表 II

分類	授業科目	単位	区分	年次	修了必要単位	
専門科目	言語学	音声学・音韻論 A	2	講義	1～2	16 単位 ただし、言語学、日本語教育学、対照言語学より8単位以上を履修するものとする。 また、他専攻の専門科
		音声学・音韻論 B	2	講義	1～2	
		形態論・統語論 A	2	講義	1～2	
		形態論・統語論 B	2	講義	1～2	
		意味論・語用論 A	2	講義	1～2	
		意味論・語用論 B	2	講義	1～2	

専 門 科 目		ことばのバリエーション	2	講義	1～2	目を6単位までを含むことができる。 なお、この6単位には、経済研究科修士課程の国際科目の中から2単位を含むことができる。 共通専門科目のアカデミック・ライティングA・Bは含むことはできない。
		ことばと社会・文化	2	講義	1～2	
		コーパス言語学	2	演習	1～2	
		認知言語学	2	講義	1～2	
	日本語教育学	海外日本語教育実習	2	演習	2	
		言語習得論と日本語教授法A	2	演習	1～2	
		言語習得論と日本語教授法B	2	演習	1～2	
		コミュニケーションと日本語教育A	2	演習	1～2	
		コミュニケーションと日本語教育B	2	演習	1～2	
	対照言語学	対照言語学概論	2	演習	1～2	
		対照言語学(日・韓)	2	演習	1～2	
		対照言語学(日・中)	2	演習	1～2	
		対照言語学(日・東南アジア諸言語)	2	演習	1～2	
		対照言語学(日・英)	2	演習	1～2	
		対照言語学(日・独)	2	演習	1～2	
	共通専門科目	アカデミック・スキルズ	2	講義	1	
		アカデミック・ライティングA	2	講義	2	
		アカデミック・ライティングB	2	講義	2	
		言語技術概説A	2	講義	1～2	
		言語技術概説B	2	講義	1～2	
情報処理概論		2	講義	1		
情報処理研究A		2	講義	1～2		
情報処理研究B		2	講義	1～2		
教育・心理統計演習A		2	演習	1～2		
教育・心理統計演習B		2	演習	1～2		
言語テスト論		2	講義	1～2		
言語文化研究A(東アジア)		2	講義	1～2		
言語文化研究B(東南アジア)	2	講義	1～2			

別表Ⅲ

分類	授業科目	単位	区分	年次	修了必要単位
特別研究	日本語教育学特別研究Ⅰ	2	演習	1	6単位
	日本語教育学特別研究Ⅱ	2	演習	2	
	日本語教育学特別研究Ⅲ	2	演習	2	

別表Ⅳ

分類	授業科目	単位	区分	年次	修了必要単位
基礎科目	比較文明学原論A	2	講義	1	8単位 他専攻の基礎科目を2単位まで含むことができる。
	比較文明学原論B	2	講義	1	
	比較文化学原論A	2	講義	1	
	比較文化学原論B	2	講義	1	
	地域研究原論A	2	講義	1	
	地域研究原論B	2	講義	1	

別表Ⅴ

分類	授業科目	単位	区分	年次	修了必要単位	
専 門 科 目	比較 文 明 文 化	比較思想研究	2	講義	1～2	16単位 ただし、比較文明文化、地域言語文化より8単位以上を履修するものとする。 また、他専攻の専門科目を6単位までを含むことができる。
		比較宗教研究	2	講義	1～2	
		比較倫理研究	2	講義	1～2	
		比較文学研究	2	講義	1～2	
		比較社会研究	2	講義	1～2	
		比較観光研究	2	講義	1～2	
		比較政治研究	2	講義	1～2	

専 門 科 目	地 域 言 語 文 化	比較環境研究	2	講義	1～2	なお、この6単位には、経済研究科修士課程の国際科目の中から4単位を含むことができる。共通専門科目のアカデミック・ライティングA・Bは含むことはできない。
		英米言語文化演習	2	演習	1～2	
		英米地域文化演習	2	演習	1～2	
		ドイツ言語文化演習	2	演習	1～2	
		ドイツ地域文化演習	2	演習	1～2	
		日本言語文化演習	2	演習	1～2	
		日本地域文化演習	2	演習	1～2	
		中国言語文化演習	2	演習	1～2	
	中国地域文化演習	2	演習	1～2		
	共 通 専 門 科 目	アカデミック・スキルズ	2	講義	1	
		アカデミック・ライティングA	2	講義	2	
		アカデミック・ライティングB	2	講義	2	
		言語技術概説A	2	講義	1～2	
		言語技術概説B	2	講義	1～2	
		情報処理概論	2	講義	1	
		情報処理研究A	2	講義	1～2	
		情報処理研究B	2	講義	1～2	
		教育・心理統計演習A	2	演習	1～2	
		教育・心理統計演習B	2	演習	1～2	
		言語テスト論	2	講義	1～2	
言語文化研究A（東アジア）		2	講義	1～2		
言語文化研究B（東南アジア）	2	講義	1～2			

別表VI

分類	授業科目	単位	区分	年次	修了必要単位
特別研究	比較文明文化特別研究Ⅰ	2	演習	1	6単位
	比較文明文化特別研究Ⅱ	2	演習	2	
	比較文明文化特別研究Ⅲ	2	演習	2	

別表VII

分類	授業科目	単位	区分	年次	修了必要単位
基 礎 科 目	英語学原論A	2	講義	1	8単位 他専攻の基礎科目を2単位まで含むことができる。
	英語学原論B	2	講義	1	
	英語教育学原論Ⅰ	2	講義	1	
	英語教育学原論Ⅱ	2	講義	1	
	Intercultural Communication TheoryⅠ	2	講義	1	
	Intercultural Communication TheoryⅡ	2	講義	1	

別表VIII

分類	授業科目	単位	区分	年次	修了必要単位	
専 門 科 目	英 語 学	英語の文法現象A	2	講義	1～2	16単位 (修士論文を提出しない場合は24単位) ただし、言語学、日本語教育学、対照言語学より8単位以上を履修するものとする。また、他専攻の専門科目を6単位までを含むことができる。なお、この6単位には、
		英語の文法現象B	2	講義	1～2	
		口語英文法研究A	2	講義	1～2	
		口語英文法研究B	2	講義	1～2	
		英語意味論・語用論A	2	講義	1～2	
		英語意味論・語用論B	2	講義	1～2	
		英語音声学・音韻論A	2	講義	1～2	
		英語音声学・音韻論B	2	講義	1～2	
		英語歴史言語学A	2	講義	1～2	
		英語歴史言語学B	2	講義	1～2	
		英語コーパス言語学	2	講義	1～2	
		英語社会言語学A	2	講義	1～2	
		英語社会言語学B	2	講義	1～2	
		第二言語習得研究A	2	講義	1～2	

専 門 科 目	第二言語習得研究B 英語教授法研究A 英語教授法研究B メディア・スタディーズA メディア・スタディーズB	2	講義	1～2	経済研究科修士課程の国際科目の中から2単位を含むことができる。共通専門科目のアカデミック・ライティングA・Bは含むことはできない。	
		2	講義	1～2		
		2	講義	1～2		
		2	講義	1～2		
		2	講義	1～2		
	コミュニケーション	Intercultural Communication Research A	2	講義		1～2
		Intercultural Communication Research B	2	講義		1～2
		Research Writing and Presentation A	2	講義		1～2
		Research Writing and Presentation B	2	講義		1～2
		Interpersonal Communication A	2	講義		1～2
	共通専門科目	Interpersonal Communication B	2	講義		1～2
		アカデミック・スキルズ	2	講義		1
		アカデミック・ライティングA	2	講義		2
		アカデミック・ライティングB	2	講義		2
		言語技術概説A	2	講義		1～2
		言語技術概説B	2	講義		1～2
		情報処理概論	2	講義		1
		情報処理研究A	2	講義		1～2
		情報処理研究B	2	講義		1～2
教育・心理統計演習A		2	演習	1～2		
教育・心理統計演習B		2	演習	1～2		
言語テスト論		2	講義	1～2		
言語文化研究A（東アジア）		2	講義	1～2		
言語文化研究B（東南アジア）		2	講義	1～2		

別表IX

分類	授業科目	単位	区分	年次	修了必要単位
特別研究	英語教育特別研究Ⅰ	2	演習	1	6単位
	英語教育特別研究Ⅱ	2	演習	2	
	英語教育特別研究Ⅲ	2	演習	2	

別表X

分類	授業科目	単位	区分	年次	修了必要単位
本 言 語 教 育 ・ 学 日	日本語学特殊研究(統語論)	4	講義	1～2	2科目8単位
	日本語教育学特殊研究(コミュニケーション教育研究)	4	講義	1～2	
	第二言語教育学特殊研究(第二言語習得研究)	4	講義	1～2	
	第二言語教育学特殊研究(語彙教育研究)	4	講義	1～2	
	対照言語学特殊研究(日・東アジア諸言語)	4	講義	1～2	

別表XI

分類	授業科目	単位	区分	年次	修了必要単位
地 域 言 語 文 化 ・ 文 化	比較文明文化・地域言語文化特殊研究Ⅰ	4	講義	1	8単位
	比較文明文化・地域言語文化特殊研究Ⅱ	4	講義	2	